

図書館報告

〈レイアウト変更〉

図書館スペースを有効活用するため、受付カウンターを縮小して、レイアウトの変更を実施しました。...



〈テーマによる展示〉

月毎の展示のほかに、2年生の修学旅行にむけた「台湾学習」や「食べ物を通して見る国際理解」の関連図書、8月に亡くなられた「さくらももこ」さんの作品を特別に展示しました。

- 4月 図書館へようこそ (絵本)
5月 「本屋大賞」受賞作品
6月 明治維新150年
7月 「校内読書感想文コンクール」課題図書
9月 防災を考えると

図書館報

ビブリオテカー

Βιβλιοθήκη

「Βιβλιοθήκη」はギリシャ語で図書館のことです。

第 40 号

2019年2月27日発行

北陸学院高等学校 図書委員会

〒920-8563 金沢市飛梅町1-10 TEL(076) 221-1944

印刷所 ハヤシ印刷紙工株式会社

- 10月 ハロウィン特集
11月 「泉鏡花文学賞」受賞作品
12月 クリスマス絵本
1月 大人になる
2月 ことはあそび

〈授業利用〉

3年生全クラスが、6月に「聖書」のグループプロジェクトとして、授業で図書館を活用しました。...

〈教員による推薦図書紹介〉

今年度の「教員による推薦図書紹介コーナー」は、新任の先生方を中心に協力いただきました。

- 5月 小金沢 透先生
6月 須原 理加先生
7月 中田 朋樹先生
9月 村澤 綾子先生
10月 渡瀬 勇先生
11月 神之田友里愛先生
12月 前田 理香先生
1月 高田 恵嗣先生

〈読書週間スタンプリー〉

秋の読書週間にあわせて、10月22日(月)～11月17日(土)の期間に「読書週間スタンプリー」を実施しました。...

〈寄贈図書〉

七尾市在住の山本氏から、昨年

北陸学院高等学校図書委員会の今年度の年間目標は、「知識は財産 knowledge is property」でした。...

知識は財産

knowledge is property

「古本市」と「POP講」座、「選書会」でした。ここで学べたこと、行事を通してたくさんの人と関わって気づかされたことがあります。...

度のジュニア版に加えて、理化学研究所による「科学道100冊」が寄贈されました。中学校1・2年生全員によるミニビブリオバトルの実践など、積極的な読書活動に活かされています。

図書館利用統計

4~12月

Table with columns for year (2016, 2017, 2018) and rows for loan categories (High school 1-3 years, Middle school 1-3 years, etc.)

〈個人貸出BEST5〉

- 1位 16H 大成 志織
2位 27H 高塚くるみ
3位 36H 柳 あすか
4位 23H 袖之 麻央
5位 26H 高木 里子

は、はじめてのことばかりで不安でしたが、どの行事も本を身近に感じる事ができ、とても楽しく成功させることができました。...

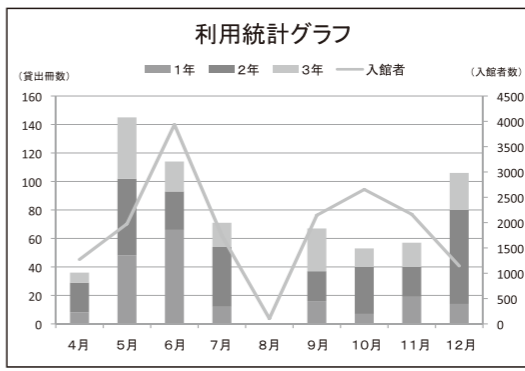
〈貸出作家BEST3〉

- 1位 石田 衣良
2位 東野 圭吾
3位 ダレン・シヤン

一年間を振り返ってみると、最初に掲げた図書委員会の年間目標については、達成できたのかというと、あまりできませんでしたが、もしイベントなどができたのではないかと、反省の思いがたくさんあります。...

図書担当教員から一言

鹿島茂「子供より古書が大事」と思いたい(文春文庫)に次のようなエピソードがあります。...



〈貸出作品BEST3〉

- 1位 空想科学読本 柳田理科雄
2位 ダレン・シヤン
3位 デイズニア二ア二メ小説版

編集後記

慌ただしい一年でしたが、トラブルもなく行事を行いました。本当にありがとうございました。(村本) 初めての仕事ばかりでしたが、与えられた仕事をこなせたことを喜ばしく思っています。(竹中)

- 編集委員長 25H 村本 桜花
編集委員 15H 竹中 美優
17H 多田ひかる
26H 関口 礼菜
26H 山 鈴佳
イラストレーター 26H 山 YO

図書委員 おすすめの本

今年度も、各クラス委員による「図書委員おすすめの本」を前・後期それぞれ6回、合計12回発行しました。...



『水は答えを知っている』 江本勝 私が一番印象に残っている所は、「よびます」といわず、流れている

こと」という文章です。勉強のことなどたくさん悩み事があっても、水のよりにいきいきと流れるようにポジティブに考えることが大切だと分かりました。...

『ギリシア神話テバイ物語』 R.L.グリーン

私たちとの関わりが深い一人の神、イェス・キリストを礼拝するキリスト教。しかし、この物語には多くの神々が登場します。...



【ミッシヨン祭】 8月31日 (金)

今年度のミッシヨン祭では、図書委員会による「(古本市) (しおり作り) (図書委員「おすすめの本」展示) を行い、皆で協力することの大切さを学びました。

〔古本市〕 古本提供は、ポスターやインターネットツールで呼びかけて、生徒や先生方の協力もあり、たくさんの本を集めることができました。会場準備では、お客さんが楽しく本を選びやすいように、他のメンバーと協力しながら考えました。当日は初めてのことが多く、不安や緊張、

期待がありました。委員で役割を分担して、お客さんへの対応ができました。 (しおり作り) 生徒や小さな子供達が見て、実際にしおりを作っている様子を見て、実施してよかったと思えました。しおり作りでも、各委員で協力することができました。

〔図書委員「おすすめの本」展示〕 来場者が本に興味をもつてくれるように、委員のおすすめの本を展示しました。カフルに飾られた紹介文は、大変分かりやすいと好評でした。

(25日 村本 桜花)

POP講座

6月20日(水)・11月14日(水)

今年度はPOP講座を2回開催しました。6月にうつのみやの伴響さん、11月に北国書林の山千春さんを講師にお招きしました。

講座では、書店員さんが、文字の大きさや使用する画材など、POP作りに関することを直接教えてくれました。POP作りを体験する前は簡単だと思いましたが、い



も買い手に興味をもってもらえるように工夫されていて、大変だろうと思いつつも感動があります。POPは、買い手にとっても売り手にとってもなくてはならないものです。機会があれば、もう一度参加したいです。

(26日 関口 礼菜)



選書会

11月12日(月)

ミッシヨン祭古本市の収益金を基に、うつのみや金沢香林坊店で選書会を行いました。当日は図書委員4名が、本校図書館の蔵書にしたい本を選びました。



選書会は、自分が読む本を選ぶ感覚とはまた違って「図書館を利用する他の人はどんな本が読みたいかな」と考えながら選んだので、新鮮で少し楽しかったです。私が選んだ本の中には、これまで読んで面白かった本や、読んでみたいと思った本などがありますが、普段自分では買わないような本も入れました。このことについて、自分のみでなく他の人の新しいジャンルの発見にもつながればいいなと思いました。

(17日 多田 ひかる)

選書会で久しぶりに書店へ行って、じっくり本を選んでみると、改めて多種多様な本があるんだと感じました。私はその中でも文学(小説)をいくつか選びました。自分にとって

いたいのばかりです。本を選んでいく中で、じっくり本のあらすじやポツプを見てみると、工夫がなされている部分も一緒にわかって、気づけたことがとても多かったです。今回の選書会では、様々な本を手にとり、見て、感じて、味わうことができたので、たくさんさんの良い経験ができました。

購入図書リスト

(26日 山 鈴佳)

- 『さよならクリストファー・ロビン』 高橋源一郎
- 『愛なき世界』 三浦しをん
- 『世界の名言名句1001』 三省堂
- 『世界で一番美しいペンギンの世界』 アレックス・ベルナスコーニ
- 『この恋は世界でいちばん美しい雨』 宇山 佳佑
- 『いつか、あなたと』 中川 秀樹
- 『毒』 赤川 次郎
- 『ひぐらしの神様』 東 朔水
- 『昨日の僕が僕を殺す』 太田 紫織
- 『左目に映る星』 奥田亜希子
- 『みつばの郵便屋さん』 小野寺史宜
- 『君は月夜に光り輝く』 佐野 徹夜
- 『私が大好きな小説家を殺すまで』 斜線堂有紀
- 『また、同じ夢を見ていた』 住野 よる
- 『最後の医者は桜を見上げて君を想う』 二宮 敦人
- 『マスカレード・ホテル』 東野 圭吾
- 『さまよう刃』 東野 圭吾
- 『江ノ島西浦写真館』 三上 延

第42回校内読書感想文コンクール

『わたしがいどんだ戦い』

1939年

最優秀賞



28H 津幡 真裕

「愛を身に着けなさい。愛はすべてを完成させるきずなです。」このお話を読み終えた後に、ふと思いついた言葉だ。愛やきずなは、私たちの目には見えない。しかしこの本の主人公エイダには、幼い頃に愛をもらえなかったが故の戦いがあった。

右足にハンディキャップをもつ少女エイダは、十歳まで母親から虐待を受けていた。母親から罵倒を浴びせられ、暴力を振るわれる毎日からエイダを救ったのは、皮肉にも第二次世界大戦がきっかけだった。エイダは、学童疎開を利用して、母親の虐待から逃れた。

子どもが一番最初に愛を学ぶ人、それは母親だろう。しかし、彼女の母親はエイダに愛情を注ぐことはなかった。それどころか障がいを持つ子を恥とし、エイダに深い傷を負わせた。エイダの傷をいやしたのは、疎開先で里親となったスーザンだった。スーザンは、エイダに、清潔な布団や食事を用意し、読み書きを教えた。これまで母親はエイダに教育など無用としていたが、スーザンはエイダを一人の個人として尊重した。

人から愛されて、認められる。それほど、嬉しいことはないだろう。親と

のつながりを自ら断ち切ったエイダは、勇気のある少女だろう。しかし、まだ十歳だ。どうしようもなく不安で孤独だったと思う。母親からのトラウマで簡単に人を信じるということができないエイダが、人を信じ愛されるということを知っていく。スーザンとの信頼関係が少しずつ築かれていく。人として教えられるはずの、やわらかくて素晴らしいものをエイダはスーザンから感じとっていく。

エイダが死を目の当たりにした場面も印象深い。それは、エイダが外で手伝いをしている時だった。明るい目をした一人の兵隊に、「手がしびれているから手紙をかわりに書いてくれないか」とお願いされた。だがエイダが紙とペンを持って帰ってきたときには、その兵隊は死んでいた。たった今話しかけてきた人が死んでしまった。手紙を書きたいと言っていたのに、血も出ていないし、無傷のように見えたの……。

私が、この場面に強い感情を抱いたのは、最近事故に遭遇したからだ。車での移動中、自転車と自動車の接触事故が目の前で起きた。その時は、人は一瞬で死の恐怖を味わえることを知った。人は必死にもがきなが

ら、生きようとする。自転車に乗っていた人は大きな声で叫び続け、周りにいた人達は救急車を呼び、車を持ち上げて、自転車で乗っていた人を助け出そうとしていた。私は、目の前で起った恐怖に怯えながら、父や周りの人達が動いている姿をただ茫然と見ているだけだった。

誰にでも訪れる「死」という恐怖。日本でも、この本の舞台イギリスでも、生き延びるために、そして戦争に勝つために同じようなことが起こっていたのだと思った。配給制度、灯火管制、防空壕、そして多くの人の命が奪われたことも、国は違っても、人々は同じ恐怖に怯え、苦しみや悲しみを味わっていたのだ。

なぜ相手の首を絞めようとして、結局は自分の首を絞めるという愚かなことが、世界中で起きたのか。そして、なぜ今もなお起きている国があるのか。私達は、それをよく知ろうとしない。戦争に関する番組の視聴率の低下や、終戦記念日を覚えていない若者の増加を、メディアが取りあげている。時が過ぎを忘れさせるが、同じ過ちが繰り返されてから気づくのでは遅いのだ。

エイダは、スーザンによって愛を知り、戦争によって死というものを感じた。そして彼女をより成長させたのは、動物との出会いだった。スーザンの家には、バターという名前のポニーがいた。バターは当然喋ることはできない、馬を乗りこなすには、根気強い訓練

が必要だ。毎日のお世話や馬との信頼関係によって訓練は上達してゆく。愛を知らなかったエイダが、信頼を築き上げる立場へと成長する。

エイダは人との出会いやつながりを通して愛や信頼という、目には見えないものを学んでいく。戦争や虐待という暴力によって、人は人を傷つけることもあるが、人は愛をもって人を救うこともできる。

エイダにとっての戦争は、自分の人生を救うための戦争だったのではないかと私は思う。第二次世界大戦中という状況下に置かれた中で、自分を失いそうになることもあった。アパートに縛られた環境を変えることから始まったエイダの小さな勇気は、エイダの人生を大きく変えた。愛を知り、優しさを知り、自分自身という存在を守るための戦いに打ち勝った。母親からの虐待、右足のハンディキャップ、そして生と死の境目にありながらもエイダは自分の信念を守るために戦い続けたのだ。

校内読書感想文コンクール 審査結果

夏休みに本校高校生に読書感想文の宿題を課し、提出された作品をもとに「読書感想文コンクール」を実施しました。計691作品について、審査した結果を報告します。

☆最優秀賞

『わたしがいどんだ戦い』1939年 28H 津幡 真裕



(国語科)

☆優秀賞

- 『わたしがいどんだ戦い』1939年 36H 吉田美佳子
- 『車いす犬ラッキー 捨てられた命と生きる』 16H 甲斐太一朗
- 『いのちは贈りもの ホロコーストを生きたびて』 18H 荒木 桃子
- 『雲の墓標』 18H 坂本 恭一
- 『サーカスの夜に』 18H 田島 南

☆優良賞

- 『明日の子供たち』 13H 中邨 愛里
- 『雲の墓標』 15H 高野 裕二
- 『明日の子供たち』 23H 風間 響

☆佳作

- 『サーカスの夜に』 24H 金崎 栄央
- 『サーカスの夜に』 28H 根本 愛梨
- 『車いす犬ラッキー 捨てられた命と生きる』 34H 中條屋美羽

なお本校代表として、石川県の読書感想文コンクール「I類」課題図書に、津幡さん、吉田さん、「II類」自由図書に、坂本さん、田島さん、風間さんの作品が選出されました。